

子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

つつみ @ 通信



戦後 80 年に際し多くの言葉が寄せられています。時間の経過とともに先の大戦について様々な立場からの意見が発せられ、やっと冷静に歴史の真実が語られるようになったと感じます。それと同時に世界から戦争を知る世代がだんだんいなくなり戦争の恐ろしさ、非人道性、異常さを語る機会が減りました。人のやることに完全な正義も悪もありません。しかし人間同士が殺しあうことは罪以外の何物でもない。どうしたら戦争や犯罪を起こさなくて済むのか、それを全力で追求し実現するのが政治の仕事だと思っています。これから激動の時代が来ます。子ども達が幸せに生きる未来を迎えられますように。

【環境を考える議員の会沖縄視察 道の駅やんばるパイナップルの丘安波・吉の浦火力発電所】

台風真ただ中の 7 月末、県議会の環境を考える議員の会で沖縄へ。話題のジャングリアを素通りし最新のエネルギー政策を視察。本島北の果て国頭村では慶応技術大学大学院と連携し民間資金を調達した道の駅の防災拠点化プロジェクトを、沖縄電力吉の浦火力発電所では火力発電所における水素混焼発電の難しさを見てきました。理想と現実を埋めるには、お金と知恵が必要ですね。



書籍紹介



『世界秩序が変わるとき』 新自由主義からのゲームチェンジ 齋藤ジン/著

バブル絶頂期に日本を飛び出しワシントンDCでヘッジファンドへの助言を仕事とする著者が「新自由主義」の終焉と新たなゲームの始まりを予言し、新自由主義の負け組として失われた 30 年を耐えた日本の時代が来ると断言する本書。ゲームのオーナーである米国の利益の為に翻弄され続けた日本ですが、今度のゲームチェンジが主役の交代で済むのか、ゲームとオーナーが変わるのか見極めたいと思っています。

今月の数字

熊本県の農業（畜産含む）産出額

3,757 億円（令和 5 年度）

県の農業産出額は一時減少していましたが令和 5 年度は 3757 億円とピーク時の 93% まで回復しました。内訳としては畜産 37%、野菜 36%、その他 27% で食料自給率はカロリーベースで 60%、生産額ベースで 142% と全国第 5 位の農業県です。近年はくまもとグリーン農業の普及に尽くし、化学肥料・化学農薬の使用量は平成元年の 20% 代にまで減少しています。今後は農業従事者 5 万人の 60% 以上が 65 歳以上という課題に対し、外国人材 (R5:4616 人) の活用とスマート農業 (DX 技術) の進展が重要とされています。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974 年 7 月 7 日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の 5 人兄弟の長男に生まれる。

【学校】託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本 YMCA 学院建築科卒

【経歴】現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成 18 年に開業・現職

2022 年 5 月の熊本県議会議員選挙熊本第一選挙区補欠選挙にて 20033 票で初当選、2023 年 4 月、10,789 票で 2 期目当選

【資格】宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター（相続対策専門士）・2 級建築士・CFP（国際認定 FP 資格）・防災士